

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年										2024年										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日
カンピロバクター	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	12 (15)	9
病原性大腸菌	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	9	11
腸管出血性大腸菌	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	0
サルモネラ	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	1	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	2	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0
ノロウイルス	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第45週(11月4日~11月10日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

種別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	3	結核	3			1		1		1	
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3							3	
四類	4	つつが虫病	1					1			
		日本紅斑熱	2	1			1				
		レジオネラ症	1				1				
五類	16	アメーバ赤痢	1					1			
		急性脳炎	1				1				
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3				1	1		1	
		ジアルジア症	1		1						
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1							
		侵襲性肺炎球菌感染症	1								1
		水痘(入院例)	1					1			
		梅毒	4					2		2	
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1			
百日咳	2					2					

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり0.78人の報告があり、増加傾向が続いています。全国では第44週に流行開始の目安となる定点当たり1.00人を上回りました。今後、本格的な流行を迎えることが予想されます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

2 マイコプラズマ肺炎

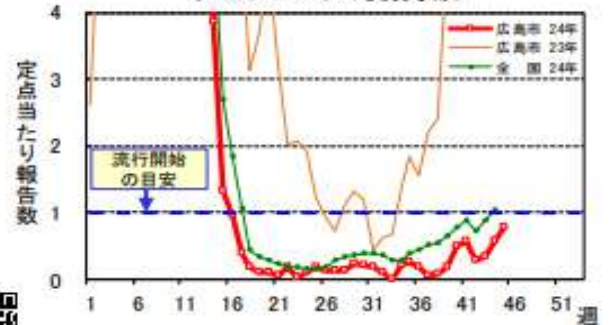
定点当たり8.33人の報告があり、多い状況が続いています。長引く咳が特徴で、感染経路は飛沫感染と接触感染です。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

【参考】

マイコプラズマ肺炎の患者報告数が増加しています(注意喚起)(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/405133.html>



インフルエンザの流行状況



3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり0.67人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	増減状況		
												急増減	増減	
インフル	インフルエンザ	28	0.78	3.55	◇	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.33		急増減	前週と比較しておおむね1.2以上の増減	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	24	0.67		◇		流行性耳下腺炎	2	0.09	0.02		増減	前週と比較しておおむね1.15~2の増減	
小児科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.21		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05		微増減	前週と比較しておおむね1.11~1.5の増減	
	咽頭結膜熱	5	0.22	0.64			流行性角結膜炎	6	0.75	0.50		横ばい	ほとんど増減なし	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	1.52	1.75	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	感染性胃腸炎	65	2.83	3.37	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-				
	水痘	2	0.09	0.12			マイコプラズマ肺炎	50	8.33	0.06	◇			
	手足口病	22	0.96	0.63	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.04			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				
	突発性発しん	6	0.26	0.30										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	89	60歳代
4	つつが虫病	1	1	80歳代
4	日本紅斑熱	1	1	70歳代・市外
4	レジオネラ症	1	21	80歳代
5	アメーバ赤痢	1	3	30歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	18	30歳代
5	水痘(入院例に限る)	1	2	20歳代
5	梅毒	2	144	20歳代、40歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	7	70歳代
5	百日咳	2	29	10歳代、30歳代